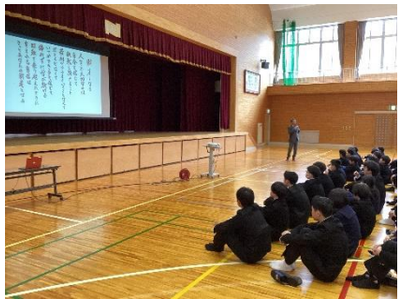
一中だより

第１号
令和６年４月

学校教育目標：はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成

校長室から



令和６年４月８日（月）第１学期の始業式を行いました。始業式の前に新たに９名の先生方をお迎えして、着任式を行いました。始業式では、校長からの言葉としてやり通すことの大切さを話しました。その後、担任発表では、発表のたびに拍手が起こるなど生徒の今年度にかける意気込みを感じることのできる雰囲気の良い始業式となりました。

新入生 99 名を迎え、全校生徒 290 名で令和６年度が本格的にスタートしました。今年も生徒に「凡事徹底」を意識させ、“当たり前のことが当たり前にできる”“状況に応じて、どう行動することが正しいのか、自分で判断し実行する”そんな生徒が一人でも多くなることを期待しています。

令和6年度学校経営の概要

本校の生徒は、素直で明るく心優しい生徒が多い。また、生徒アンケートからほとんどの生徒が学校は楽しいと感じています。また、生徒会活動や部活動を中心に主体的に活動しようとする姿勢が随所に感じられます。一方で、多くの生徒が SNS を利用していますが、操作技能に比べ、情報モラル、情報セキュリティの意識や自己管理能力が低く、様々なトラブルが見られます。学校教育目標である「はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成」の実現のために、以下の点に重点を置き教育活動を展開してまいります。

＜指導の重点＞

主体的で対話的な学習づくり
自己肯定感を育む集団づくり
安全で安心できる生活づくり

＜具体的な手立て＞

○主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を図る。
○協働学習を積極的に取り入れるとともに、自分の考えをまとめて記述したり発表したりするといったアウトプットの活動を重視する。
○キャリア教育を重視し、自分自身の良さや特性を意識させながら、自己の将来を考察する時間と場を十分に確保する。
○道徳教育の充実を図るとともに、学校内外のボランティア活動を通して生徒の自己肯定感や自己有用感を高める。
○生徒会活動や学校行事を通して、生徒の主体的態度を評価し自己指導力を高める。
○学校行事や部活動等を通して、集団への帰属意識を高めるとともに体力や気力の充実を図る。
○生徒の人権意識や人権感覚を高めるとともに，事件や事故などに対する危険予測・危機回避能力を高め、生徒の人的安全と物的安全を確保する。

令和6年度入学式

桜の花が舞う中、晴天に恵まれた４月 10 日（水）、令和６年度の入学式を行いました。真新しい制服に身を包み、希望を胸に秘めた９９名の新入生が、新見第一中学校の仲間となりました。これまでと違った通学方法，違う校舎、数多くの先生方や友達など、大きな環境の変化に多少戸惑いや不安も感じられましたが、これから始まる新しい生活を前に、新入生の目はキラキラと輝いていました。この輝きを失うことなく、新たな一中の歴史と伝統を継承・発展させてくれるものと信じています。

交通教室

４月 16 日（火）には、１年生を対象に交通教室を開催しました。この日は雷が心配されましたので、グランドで実際に自転車に乗っての学習はできませんでした。新見警察署の交通課の方や交通指導員の方から、自転車点検の仕方を教えてもらったり、自転車に乗る際の注意すべきことなどを聞いたりしました。1年生は自転車通学に不慣れなうえに、学生カバンやスポーツバックなどが重く、バランスを崩しやすいので、特に注意して欲しいと思います。見通しの悪い場所や交通量の多い場所では特に気を付けて欲しいと思います。保護者の方も、ヘルメットの着用やカバンやスポーツバッグなどがきちんと荷台に固定されているかなど気を付けてみてください。今年度、生徒全員が安全に登下校できることを願っています。